国立大学法人東京農工大学　女性未来育成機構

妊娠・出産・育児・介護にかかわる
女性研究者のための

学内研究サポートシステム

学内研究サポートシステムとは、妊娠、出産、育児、介護にかかわる女性研究者が、研究業務を円滑に進められるよう、女性未来育成機構から研究支援員を派遣したり、産休取得中の女性研究者に代わって研究業務を行う専任ポスドクを派遣する制度です。是非、ご活用下さい。

研究支援員の派遣

【対象】
妊娠、育児、介護にかかわる女性研究者
(教員、技術職員、研究員、博士(後期)課程学生)
妊娠・・・母子手帳取得後、産休前まで
育児・・・原則小学生6年生までのお子様がいる方
介護・・・一時的な看護や通院の付添いなど、介護を必要とする家族がいる方

【支援体制】
週1～2回、女性未来育成機構の研究支援員が、研究補助業務に従事します。
支援の例・・・実験のルーチンワーク
データ整理など

専任支援員の派遣

【対象】
・出産期にある女性常勤教員
(原則として常勤の教授、准教授、講師、助教)
・当事者の講義や実習を代替する常勤教員

【支援体制】★2020年度より制度を拡充しました。
出産予定日の3か月前から産後1年の範囲内で連続する上限6か月間を原則とし、専任支援員*1が、ご本人に代わって研究業務に従事します。

拡充した内容は以下の通りです。

①雇用期間の延長
勤務時間数等の調整により最長1年間まで延長することができます。
②専任支援員の適用拡大
従来の研究業務を代替する専任ポスドク*2のほか、講義・実習を代講する代替講師(非常勤講師*3)等の雇用が可能になりました。
③講義・実習を代講する学内教員に対する専任支援員の雇用
講義・実習の代講により割かれるエフォートの補填として、代講を行う教員への専任支援員の配置も可能です。
④専任支援員の雇用条件の拡大
ポスドクの直接雇用が困難な場合は人材派遣会社等からの派遣を利用できます。
※必ずしもご希望の条件での派遣を受けられるとは限らない旨、ご了承ください。

*1 専任支援員：専任ポスドクと非常勤講師の総称
*2 専任ポスドク：研究を代替する支援員
*3 非常勤講師：講義を代替する支援員

お問い合わせ先

女性未来育成機構
【小金井機構室】
小金井キャンパス5号館1F
TEL/FAX　042-388-7362/7643
E-mail　joseispt@cc.tuat.ac.jp

【女性未来育成機構HP】
http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/center/index.html
・学内研究サポートシステムに関するページ
http://www.tuat.ac.jp/~dan-jo/center/shien.html